

介護支援専門員としてのケアマネジメント ～虐待事例から考える～

介護保険法では「介護支援専門員は要介護者等が自立した日常生活を営むのに必要な援助に関する専門的知識及び技術の水準を向上させ、その他その資質向上を図るよう努めなければならない」ことが義務付けられています。在宅、施設問わず、介護支援専門員としてケアマネジメントを常に意識し個別ケアやチームアプローチについて共に学びましょう。

今回、「高口光子の元気がでる介護研究所」から高口さんをお招きし、分かりやすくズバズバと愛情持ってお話いただきます。新型コロナウイルス感染症に配慮した形で集合でのみ実施いたしますので、ぜひご参加ください。

【開催日時及び会場】

日 時：令和5年3月13日(月) 13:30～16:30 (受付13:00～)

会 場：イクネス新発田 1階 多目的室1 新潟県新発田市諏訪町 1-2-12
TEL 0254-28-9950 FAX 0254-28-9951

【講 師】



高口 光子 氏 (介護アドバイザー)

プロフィール

■高知医療学院を卒業後、理学療法士として福岡の病院に勤務するも、老人医療の現実と矛盾を知る。

より生活に密着した介護を求め、特養ホームに介護職として勤務。介護部長、デイサービスセンター長、在宅部長を歴任する

■2002年4月に静岡の医療法人財団百葉の会、法人事務局企画教育推進室室長及び生活リハビリ推進室室長を兼務する傍ら介護アドバイザーとして全国を飛び回る毎日を送った

■2006年に老健「鶴舞乃城」の立ち上げに携わり翌年4月に看介護部長となる。2012年5月には新規の老健「星のしずく」の立ち上げに携わり看介護部長を兼任する。現場を守りながら若い運営スタッフやリーダー育成に取り組む。一方で、講演、執筆活動、フェイスブック、NHKに出演し、現場からの等身大の発言・提案で現場を変革させようと精力的に日々を送る。

■これまでの現場からの学びの集大成として、「介護施設で死ぬということ（講談社）」を、現場を知らない人々も関係者の方々にも「今の介護現場」を知ってもらいたいという思いから、『介護の毒は孤独（コドク）です（日総研）』を刊行した。

- 【参加費】 ①会員 無料
②阿賀北認知症地域連携研究会 所属事業所(新発田市、阿賀野市、胎内市、聖籠町) 無料
③非会員 3,000円

【定員】 会場 80名

※当日徴収いたします。お釣りの無いようにお持ちください。

※定員に達した場合には事前に締め切る場合があります。（参加できない方のみ連絡します）

※当日はマスクの着用をお願いいたします。受付で検温、手指消毒を行います。発熱や体調の悪い方は参加をご遠慮ください。

※今回入会される方は会員扱いとなります。ご希望の方は入会申込書もあわせてFAXしてください。
なお、入会費令和4年度分 3,000円は事前振込をお願いいたします。

（入会申込書は協会ホームページよりダウンロードしてください）

【申込方法】 下記URL (Googleフォーム) かQRコードから入り記載
ください。

https://docs.google.com/forms/d/1ff0Nz8TRDBODxqQJMccLkFJEwgrYIX_vb3oO_qDizjw/edit



【申込締切】 2月28日 (火)

【問い合わせ先】

新潟県介護支援専門員協会 第一ブロック理事

新野 直紀 TEL: 0254-20-8490 (医療法人社団共生会 ちゅーりっぷ苑)